

Press Release

No. 18 / 22 April 2022

Page 1 / 3

ドレーゲルジャパン株式会社：周術期領域に更なる精密さと簡便性を。3D 加速度センサー搭載で、簡便で使いやすく、より正確な筋弛緩モニタ ToFscan の販売開始。

ドイツの医療機器及び安全機器メーカー Drägerwerk AG & Co. KGaA の日本法人ドレーゲルジャパン株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役：八木 史希)は、周術期領域に更なる精密さと簡便性をもたらす筋弛緩モニタ ToFscan (外国製造業者：idmed社(仏)、製造販売業者：センチュリーメディカル株式会社)の新発売に合わせ、2022年4月より販売を開始しました。「急性期医療の向上」をミッションに掲げるドレーゲルは、データをベースとした筋弛緩モニタの活用で、クリニカルアウトカムの改善に貢献します。

手術室でのより最適な筋弛緩管理への挑戦

麻酔の3要素「鎮静」「鎮痛」「筋弛緩」において、ドレーゲルは、全身麻酔装置を通じた「鎮静」と患者モニタやコネクテッドテクノロジー等を通じた「鎮静および鎮痛」へアプローチする製品ラインナップがあります。新たに「筋弛緩」への支援として、筋弛緩モニタ ToFscan の取扱いを開始します。

筋弛緩薬の効き目は、年齢や体重、性別などにより個々に異なります。筋弛緩モニタは、筋弛緩薬を定量的に計測し、最適な筋弛緩薬の量を知る手段として有効です。ToFscan は、刺激に対する筋肉の反応を定量的に評価し、数値で分かりやすく表示する為、最適な筋弛緩量を把握するのに役立ちます。

詳しくは、製品紹介をご覧ください：[こちら](#)

1. 3D 加速度センサー搭載、面倒なキャリブレーション不要:

これまで筋弛緩モニタを使用する上で面倒とされていたキャリブレーションを不要としたのが ToFscan です。1D 加速度式では可動軸がずれると測定値が低くなることがあり補正が必要ですが、3D 加速度式では、ずれが生じないためキャリブレーションも不要なので、筋弛緩薬投与の前後いつでも正確に計測できます。

2. 患者モニタにデータを取り込むことで、全身麻酔管理がより正確に簡便に：

バッテリー内蔵のカラー液晶画面を搭載しているため、ToFscan 単体での利用も可能ですが、患者モニタにデータを取り込むことで他のバイタルサインと同時に参照、管理することができます。更に、ToFscan は、ドレーゲル

■ 本件に関するお問い合わせ先：

ドレーゲルジャパン株式会社
メディカル事業部
マーケティング

柴崎 瑞乃
mizuno.shibasaki@draeger.com
Tel 070-2262-5688

Corporate Communications:
Melanie Kamann
Tel +49 451 882-3998
melanie.kamann@draeger.com

Investor Relations:
Thomas Fischler
Tel +49 451 882-2685
thomas.fischler@draeger.com

Drägerwerk AG & Co. KGaA
Moislinger Allee 53-55
23558 Lübeck, Germany
www.draeger.com

[www.twitter.com/DraegerNews](https://twitter.com/DraegerNews)
www.facebook.com/DraegerGlobal
www.youtube.com/Draeger

Press Release

No. 18 / 22 April 2022

Page 2 / 3

患者モニタとの親和性がある為、ケーブルを接続するだけで簡単にデータを取り込むことができます。

3. 使いやすさを重視。コンパクト、5種類のセンサー、6種類の刺激モード:
手の平サイズで軽量設計な ToFscan は、カラー液晶画面で見やすく、メニュー操作も簡便で直感的に操作できるインターフェースを採用。5種類のセンサーを取り揃えているので成人だけでなく、小児、乳幼児まで対応可能です。また母指でのモニタリングが難しい症例ではアイブロウ、フットセンサーでのモニタリングが可能です。6種類の刺激モードは、様々なシチュエーションに活用できます。特に、筋弛緩の程度(深い、中程度、浅い)に応じて測定モードが自動調整する ATP オートメイテッドモード (Automated TOF PTC)を備え、術中の筋弛緩モニタリングを全面的に支援します。

ToFscan は、フランスに本社を置く idmed 社が開発し、累計で約 10,000 台の発売実績があります。EU、アメリカ、カナダ、韓国、オーストラリア等グローバルに活用されている製品です。

■ ドレーゲルジャパン株式会社について

ドイツの医療機器および安全機器のメーカー Drägerwerk AG & Co. KGaA の日本法人です。「急性期医療のスペシャリストとして、急性期医療をより良くする」をメディカル事業部のミッションとし、医療機器及び関連 IT&ソリューション（麻酔器、人工呼吸器、保育器、患者モニタ&IT、シーリングサブライユニットや手術用照明機器、関連アクセサリなど）を販売しています。幅広い製品ポートフォリオと高い技術力で急性期医療を全面的にサポートします。医療従事者の皆様と共に急激に変化する医療環境を見据え、患者様の QOL の向上及び、医療従事者の皆様の業務改善に貢献します。また、セイフティ事業部では、保護メガネ、呼吸用保護具、化学防護服、ガス検知警報器、アルコール検知器等の安全機器を販売しています。ドレーゲル社は、生命を守るテクノロジーに特化した企業です。詳しくは、ドレーゲルホームページをご覧ください:[こちら](#)

Dräger. Technology for Life®

Dräger は「メディカル」・「セイフティ」技術分野におけるグローバルのリーディングカンパニーです。1889 年に創業を開始し、2021 年度には約 33 億ユーロの収益を達成しました。ドレーゲルグループは現在 190 以上の国に支社を構え、15,000 人以上の従業員と共に「Technology for Life -生命を守るテクノロジー」を実現するため、尽力しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先:

ドレーゲルジャパン株式会社
メディカル事業部
マーケティング

柴崎 瑞乃
mizuno.shibasaki@draeger.com
Tel 070-2262-5688

Corporate Communications:
Melanie Kamann
Tel +49 451 882-3998
melanie.kamann@draeger.com

Investor Relations:
Thomas Fischler
Tel +49 451 882-2685
thomas.fischler@draeger.com

Drägerwerk AG & Co. KGaA
Moislinger Allee 53-55
23558 Lübeck, Germany
www.draeger.com

[www.twitter.com/DraegerNews](https://twitter.com/DraegerNews)
www.facebook.com/DraegerGlobal
www.youtube.com/Draeger

Press Release

No. 18 / 22 April 2022

Page 3 / 3

製品画像:



販売名：筋弛緩モニター-ToFscan
一般的名称：神経探知刺激装置
クラス分類：高度管理医療機器（Ⅲ）
承認番号：30300BZX00286000

販売名：ToFscan 用センサー
一般的名称：体表面筋電計電極
クラス分類：一般医療機器（Ⅰ）
届出番号：13B1X00089041201

製造販売業者：センチュリーメディカル株式会社
外国製造業者：アイディーメド社 IDMED(フランス)

■ 本件に関するお問い合わせ先：

ドレーゲルジャパン株式会社
メディカル事業部
マーケティング

柴崎 瑞乃
mizuno.shibasaki@draeger.com
Tel 070-2262-5688

Corporate Communications:
Melanie Kamann
Tel +49 451 882-3998
melanie.kamann@draeger.com

Investor Relations:
Thomas Fischler
Tel +49 451 882-2685
thomas.fischler@draeger.com

Drägerwerk AG & Co. KGaA
Moislinger Allee 53-55
23558 Lübeck, Germany
www.draeger.com

[www.twitter.com/DraegerNews](https://twitter.com/DraegerNews)
www.facebook.com/DraegerGlobal
www.youtube.com/Draeger